								防火	対象	息物点	京検系	吉果	報台	丰吉	:							
																			年	J	1	日
消防	長	(消)	方署!	長)	(市	町村	憂)	殿														
											管	理棒	雀 原	着								
												.所										
											氏	:名	(法	人	り場合	計は、	名和	尔及	び代	表者	氏名)	
											重	話習	昏号									
下記 します		とお	り防力	火玄	力象物	物の点	検を	実施	した		、消 記	防注	第	8 条	その 2	の2	第 1	項(の規定	定に基	基づき	報告
	FIG.		/-		ШЬ						īL.											
	所		在		地																	
	名				称																	
防 火 対	管理		原の 原に 名称																			
象 物	用			迢	<u>*</u> *1											令別	表第	ī 1 *	(1	()	項
120	L+++-	١4.		Lm	1444			ì	告		地_	Ŀ			階		地	下			階	
	構	造	•	規	模	床	面積					m²	1		延	べ面	積]	n²
点		検			実		施		I	目					年		月		日			
消防法	:施	行規	則第	4 🗐	条の	2 O (6第2	項の)適月	刊				第	1号		第 2	号		第3号	<u>.</u>	
	住				所											電	話番	号				
点 !^	氏				名																	
検 者						講習	機	4名	免	伏交	付年	月	日	免	状	交 付	* 番	号	有	効	期	限
	免				状				4	年	月		日	第			-	号		年	月	日
		受	ſ	寸	棉	 *2				経	ì	田	村	闌※2			偱	前	•	ā	与 ※2	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 ※1欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。
 - 3 消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用の欄は、適用される規定がある場合、該当する規定の□にレ点を記入すること。
 - 4 ※2欄は、記入しないこと。

防火対象物点検票

防	火	管	理	者									
立		会		者									
点	検	年	月	日			年	月	日	~	年	月	日
防少	く管	理維			記録の有無	□有•□-	一部有∙□	⋾無	保存	での有無	□有•□-	一部有・□	無
防	階別	ß	事別	項	用	途	床	面	積	点検す 分の床	つる部 活面積	備	考
火	概要			階					m²		m²		
対				階					m²		m²		
象物				階					m²		m²		
121 の				階					m²		m²		
概	号棟)			階					m²		m²		
要				階					m²		m²		
		合計							m²		m²		
備考													

- 2 防火管理維持台帳の欄は、該当する□にレ点を記入すること。
- 3 防火対象物の概要が欄に記載できない場合は、別紙に記載し添付すること。

(その2)

	点検項目		点検結果		44,	ýΠ	77.	び 措	黑	内	<u>(</u> を)	<i>> </i> <u> </u>
<u> </u>	1	判定面	不 備 内	容	1/	ÐĹ	IX.	<u> </u>	旦	r1	台	
届	防火管理者選任(解任)	□ 適										
	消防計画作成(変更)	□適□否										
Щ	自衛消防組織の設置	□ <u>適</u> □ 否				_				_		
	自衛消防の組織	□ 適□										
	火災予防上の自主検査	二 次本										
	消防用設備等又は特殊消 用設備等の点検及び整備	□ □ □ 百	_									
	避難施設の維持管理	□ □ □ 否										
	及 び そ の 案 内 防 火 上 の 構 造 の 維 特 管 理	□適□										
	収容人員の適正化	□ 凉										
	防火管理上必要な教育	□ <u>商</u> □ <u>商</u>	<u> </u>									
	消火,通報及び避難の 訓練その他必要な訓練	□ <u>商</u> □ 否										
	消火活動,通報連絡 及び避難誘導	□ <u>商</u> □										
	消防機関との連絡	□ <u>资</u> □ <u>资</u> □ <u>资</u> □ <u>资</u>										
	工事中の火気使用又は取扱いの監督	□ <u>資</u> □ 否										
	及は取扱いの監督 防火管理に関し 必要な事項	□ 適										
	自活動要領	□ <u>舀</u>	1									
消	衛消費の教育及び訓練	口、运	1									
防	組織業務に関し必要な事項	口。海	<u> </u>									
	共協議会の設置及び運営	一 海	<u> </u>									
計	自练任管理者の選任	一 海	<u> </u>									
画	衛消費を行う範囲	□ <u>省</u> □ <u>適</u> □ 否	<u> </u>									
	組織運営に関し必要な事項	□ <u>省</u> □ <u>商</u> □ <u>否</u>										
	防火管理業務	□適	<u> </u>									
	の一部委託権原の範囲	□ 否 □ 適 □ 否										
	す地白海消防の組織	□ 台□ 適□ 否	<u> </u>									
	る防情報等の伝達	□ <u>否</u> □ <u>適</u> □ 否	<u> </u>									
	災	□ <u>省</u> □ <u>適</u> □ 否	<u> </u>									
	策施設及び設備の点	□ <u>省</u> □ <u>適</u> □ 否					,					
	大畑 検 及 び 整 備 大地 応 急 対 策	□ <u>否</u> □ <u>適</u> □ 否	<u> </u>									
	域 象に 災 訓 練	□ 否□ 面□ 否	<u>i</u>									
	所数去五式片和	□ 適	<u> </u>									
	防 消火訓練及び避難	□ 否	<u>i</u>									
	火 ・訓練の実施回数 消火訓練及び避難訓練	□ 否□ 適										
備考	理 を実施する場合の消防機 関への通報 1 この用紙の大きさは.	□否	業規格A4とする	- 1								

- 2 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記
- 入すること。 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

	点 検 項 目			点 検 結 果	뀨	沪	77-	び	烘	器	内	灾
	小 快 70 日	判	定	不 備 内 容	1/\	1)L	汉	0.	1日	旦	r j	廿
	統括防火管理者選任		適否									
届	(解任)		否									
出	全体についての 消 防 計 画 作成(変 更)		適否									

上	点 検 結 果	4 2
点 検 項 目	判 定 不備内容	状況及び措置内容
避難上必要な施設	□ 適	
及び防火戸の管理	□ 否	
防炎物品の表示	□ 適	
防炎物品の表示	□ 否	
圧縮アセチレンガス等の	□ 適	
貯蔵又は取扱いの届出	□ 否	

- 2 判定の欄は, 適正な場合は「適」の□ にレ点を記入し, 不備のある場合は「否」の□ にレ点を記入するとともに, 不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

	点	検	項	目		法第17条の の5第1項の〕 用	2 法第 第1	17条の3 項の適用	点 判	定	検 不	結備が	果 容	状況及び措置内容
	消火	火器 •	簡易	消火用	具	_		_		適否				
	屋	内 消	火	栓 設	備	□ <u>有</u> □ 無		<u>有</u> 無		適否				
	ス:	プリン	クラ	一設	備	□ <u>有</u> □ 無		<u>有</u> 無		<u>適</u> 否				
消	水	噴霧	肖 火	: 設備	等	□ <u>有</u> □ 無		<u>有</u> 無		<u>適</u> 否				
	屋	外 消	火	栓 設	備	□ 有		<u>有</u> 無		<u>適</u> 否				
防	動	力消防	j ポ !	ンプ設	備	口右		<u>有</u> 無		<u>適</u> 否				
	自	動火	泛 報	知 設	備	□ <u>有</u> □ 無		<u>有</u> 無		適 否				
	ガフ	ス漏れ	人災	警報設	備	□ 有		<u>有</u> 無		適 否				
用	漏	電火	災	警 報	器	_		_		<u>適</u> 否				
	消 火	防 機 関 災 執		通報す 設	る備	□ <u>有</u> □ 無		<u>有</u> 無		<u>適</u> 否				
設	非非	常警常		器 具	· 備	_		_		<u>適</u> 否				
	避	難		器	具	_		_		<u>適</u> 否				
	誘	導 灯	• 誘	詩 導 標	識	_		_		<u>適</u> 否				
備	消	防		用	水	□ 有		<u>有</u> 無		<u>適</u> 否				
	排	煙		設	備	□ 有		<u>有</u> 無		<u>適</u> 否				
等	連	結	女フ	、 設	備	□ <u>有</u> □ 無		<u>有</u> 無		適否				
子	連	結	送	水	管	□ 有		<u>有</u> 無		適 否				
	非	常コン	ヤ	ント設	備	口右		<u>有</u> 無		適否				
	無	線通信	言 補	助 設	備	口右		<u>有</u> 無		<u>適</u> 否				

- 2 法第17条の2の5第1項の適用の欄及び法第17条の3第1項の適用の欄は、規定が適用される場合は「有」の□にレ点を記入し、適用されない場合は「無」の□にレ点を記入すること。
- 3 判定の欄は、適正な場合は「適」の□ にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を 記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 4 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 5 設置義務のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。
- 6 水噴霧消火設備等とは、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備をいうこと。

(その5)

	点 検 項 目	必要とされる防火安全性 能を有する消防の用に供 する設備等の概要	判	点定	検 結 不 備	果 内容	- 状況及び措置内容
	令第29条の4第1項の必 要とされる防火安全性能 を有する消防の用に供す る設備等			適 否			
	点 検 項 目	適用される消防用設備等	判	点定	検 結 不 備	果 内容	状況及び措置内容
消防用	令第32条の適用			適			
設備等	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			否			
	点 検 項 目	特殊消防用設備 等 の 概 要	判	点定	検 結 不 備	果 内容	ポ況及び措置内容
	法第17条第3項の特殊消 防用設備等			適 否			
等				Ή			
	点 検 項 目	適用される消防 用設備等又は特 殊消防用設備等	判	点 定	検 結 不 備	果 内容	状況及び措置内容
特殊消防	設 置 の 届 出			適 否			
防用設備等又は	消防機関の検査			適否			

- 2 判定の欄は, 適正な場合は「適」の□ にレ点を記入し, 不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに, 不備内容の欄にその内容を記入すること。
- 3 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
- 4 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票

占	検	項	î ı	Ħ		点	検	結		果	뀨	泗	774	アド	 #	置	ь	宏
点	. 快	垻	, l	目	判	定	不	備	内	容	1/\	亿	汉	<u> </u>	泪	<u></u>	PJ	谷
	火を	設備	昔の人	位置		適												
	使用す	fX VH	3 ∨ ⊅ 1	<u>v</u> e		否												
火をは	る設	設備	i fo fo fo fo fo fo fo fo fo fo fo fo fo	管理		適												
 	備等	BX VIII	, ,,	<u> д</u>		否												
設備の位	する器な	器	具	の		適												
世置・構造	具等用	取	扱	V		否												
火を使用する設備の位置・構造及び管理等	火の使	喫	煙	等		適												
理 等	用に関	の	制	限		否												
	する	が /	ん 具	,用		適												
	制 限 等	煙火	くのも	制限		否												

- 備考 1 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を 記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 2 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 3 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

点	検	項目	点	検	結		果	壮	沪	ᅏ	アド	坩	罟	内	灾
117	1英	7g I	判定	不	備	内	容	1/\	1/4	八	0.	1日	<u> </u>	r į	117
	貯	蔵又は	□適												
指定	取	扱い数量	□否												
数数	1 -		□適												
量	火 気	の使用制限	□否												
未満	漏る	れ・あふれ	□適												
D	又は	飛散の防止	□否												
危険	宏	п.п	□適												
物	容	器	□否												
貯	少	計器類に	□適												
蔵	量	関する監視	□否												
及 び		タンク本体	□適												
取	危	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□否												
扱い	険	# 7 <i>/*</i> *	□適												
	物	配管	□否												

- 備考 1 判定の欄は,適正な場合は「適」の□にレ点を記入し,不備のある場合は「否」の□にレ点を 記入するとともに,不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 2 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 3 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

点	検	項目	点 判定	検 不	結備	内	果 容	状	況	及	び	措	置	内	容
		火 気 の 使 用 制 限	□ □ □ □ □ 百		νπ	1 3	·H								
	可	漏れ・あ ふれ又は 飛散の防止	□適 □否												
指定可	燃性	容器	□適 												
燃物	液体類	計器類に関する監視	□適 □否												
の貯	等	タンク本体	□適 □否												
蔵及び		配管	□適 □否												
取扱	綿	火 気 の 使 用 制 限	□適 □否												
٧١	花	集積単位	□適 □否												
	類等	計 器 類 に 関する 関東 (廃棄物固形 機料等を 貯蔵 し, 又は 取り 場 合 う 場 合	□適 												

- 備考 1 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を 記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 2 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 3 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

点	. 検 項 目	点	検	結		果	状況及び措置内容
尽	. 検 項 目	判定	不	備	内	容	人。 人。 人。 人。 人。 人。 人。 人。 人。 人。 人。 人。 人。 人
	消火器具	□適					
	日 八 奋 兵	□否					
消	昆虫冰小松乳 体	□適					
防	屋内消火栓設備	□否					
用	小 麻 雷 沁 小 元 / # 饮	□適					
設	水噴霧消火設備等	□否					
備	自動火災報知設備	□適					
等		□否					
	避難器具	□適					
	地 株 伯 央	□否					

- 備考 1 判定の欄は,適正な場合は「適」の□にレ点を記入し,不備のある場合は「否」の□にレ点を 記入するとともに,不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 2 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 3 設置義務のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。
 - 4 水噴霧消火設備等とは、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン 化物消火設備又は粉末消火設備をいう。

点横項目	適用される 設備等	点判定		結備	内	果 —— 容	- 状 措	況置	及内	び 容
火 を 使 用 来 条 例 第 20 条			71	VĦ	r 1	4				
火を使用する設備等		□否								
火 を 使 用 条 例 第 26 条		□適								
火を使用する器 県等		□否								
及可少 び燃量 綿 施 条 例 第 40 条		□適								
花 類 等 ・		□否								
消 防 用 条例第50条		□適								
設 の 適 用 等		□否								

- 備考 1 判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を 記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
 - 2 状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
 - 3 該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。